

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2027年4月28日まで（2017年5月9日設定）	
運用方針	<p>円建ての外国投資信託であるソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90の投資信託証券への投資を通じて、円建ての短期金融資産（預金含む）へ90%程度の投資を行うほか、スワップ取引により、株式・債券等に実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>各資産への実質的な投資割合は、1万口あたりの基準価額（支払済みの分配金累計額は加算しません。以下同じ。）の下落を一定水準（以下「フロア水準」といいます。）までに抑えることをめざしながら、経済環境や市況動向等を勘案して、決定されます。フロア水準は当初9,000円とし、その後は設定来の基準価額の最高値から90%の水準とします。</p> <p>基準価額がフロア水準以下となった場合には、短期金融資産による安定運用に切り替えた後、速やかに信託を終了させます。</p> <p>円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p>	
主要運用対象	スマート・プロテクター90オープン	ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90	スワップ取引を通じて、日本を含む世界各国の株式・債券等に実質的な投資を行います。また、円建ての短期金融資産（預金含む）にも投資を行います。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

スマート・プロテクター90 オープン

第2期（決算日：2019年5月7日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「スマート・プロテクター90オープン」は、去る5月7日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	分				
(設定日)	円							百万円
2017年5月9日	10,000				—	—	—	1,015
1期(2018年5月1日)	9,972		0		—	—	97.9	4,698
2期(2019年5月7日)	9,783		0		—	—	98.2	4,327

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
(期 首) 2018年 5月 1日	9,972	—	—	—	97.9
5月末	9,940	△0.3	—	—	98.3
6月末	9,888	△0.8	—	—	98.1
7月末	9,901	△0.7	—	—	97.9
8月末	9,885	△0.9	—	—	97.9
9月末	9,907	△0.7	—	—	97.7
10月末	9,730	△2.4	—	—	98.0
11月末	9,715	△2.6	—	—	98.3
12月末	9,584	△3.9	—	—	98.0
2019年 1月末	9,651	△3.2	—	—	98.6
2月末	9,706	△2.7	—	—	98.6
3月末	9,722	△2.5	—	—	98.0
4月末	9,777	△2.0	—	—	98.0
(期 末) 2019年 5月 7日	9,783	△1.9	—	—	98.2

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第2期：2018年5月2日～2019年5月7日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第2期首	9,972円
第2期末	9,783円
既払分配金	0円
騰落率	-1.9%

※フロア水準とは基準価額がこれを下回らないよう目標とする水準ですが、フロア水準の確保を保証するものではありません。

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.9%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因

下落要因

実質的な投資対象である新興国株式の下落などが、基準価額の下
落要因となりました。

投資環境について

▶ 株式市況

日本を含む先進国の株式市況は、期首から2018年9月にかけては米国の経済指標や企業決算が堅調な内容となったことなどを背景に上昇しました。10月から12月下旬にかけては世界経済に対する先行き不透明感や米中貿易摩擦問題に対する懸念の高まりなどを背景に下落したものの、その後から期末にかけては、欧米の主要な中央銀行がハト派姿勢を示したことなどを背景に反発しました。期を通じてみると、海外先進国は上昇した一方、日本は概ね横ばいとなりました。新興国の株式市況は下落しました。

▶ 債券市況

海外先進国の債券利回りは、米連邦準備制度理事会（F R B）や欧州中央銀行（E C B）などの主要な中央銀行がハト派姿勢を示したことなどを背景に、米国やドイツなどで低下しました。日本の債券利回りは、日銀が2018年7月の金融政策決定会合において金融緩和策を修正したことを背景に利回りが上昇した局面があったものの、10月から期末にかけては海外先進国同様に低下基調で推移し、期を通じてみると利回りは低下しました。新興国の債券利回りは期首と同程度の水準で期末を迎えました。

▶ 為替市況

米ドルは、世界経済に対する先行き不透明感や米中貿易摩擦問題に対する懸念の高まりなどを背景に2018年12月から2019年はじめにかけて対円で大きく下落した局面があったものの、その後は株式市況の反発などを背景に投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどを受けて上昇基調で推移し、期を通じてみると対円で上昇しました。ユーロは、イタリアの財政政策に対する懸念の高まりやE C Bが2019年内に利上げをしない方針を示したことなどを背景に対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年5月7日のコール・レートは-0.07%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ スマート・プロテクター90オープン

当ファンドは、円建ての外国投資信託であるソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90の投資信託証券への投資を通じて、短期金融資産（預金含む）および日本を含む世界各国の株式・債券等へ実質的な投資を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行いました。

フロア水準は、当期を通じて変更がなく、期末時点では9,176円です。

当期は、実質的な投資対象である新興国株式の下落などにより、基準価額は下落しました。

▶ ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90

基準価額は期首に比べ0.9%の下落となりました。

ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90において、短期金融資産（預金含む）および基準価額とフロア水準の差に相当する部分（以下、「スワップ取引部分」といふことがあります。）を、日本を含む世界の株式・債券等へ実質的に投資しました。

通常時においては、基準価額の変動幅の目処が年率上限4%となるように、スワップ取引部分の実質的な投資比率が純資産総額の最大60%となるように投資比率の調整を行いました。一方、各市場の下落予想が示唆された局面においては基準価額の変動幅の目処が年率上限1%となるようにスワップ取引部分の実質的な投資比率を引き下げ、株式・債券等への実質的な投資比率を調整することで基準価額の下落をフロア水準までに抑えることをめざす運用を行いました。

スワップ取引部分における資産配分については、期首から2018年6月にかけては債券に比べて株式の比率を高めとしました。7月から期末にかけては、株式と債券の比率が概ね同程度から債券の比率がやや高めの配分としました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は下落となりました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項目	第2期
	2018年5月2日～2019年5月7日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	－

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ スマート・プロテクター90オープン

今後の運用方針

引き続き円建ての外国投資信託であるソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90の高位組入れを行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

▶ ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90

今後の運用方針

短期金融資産（預金含む）および日本を含む世界各国の株式・債券等に実質的な投資を行います。また、スワップ取引を通じて株式・債券等への実質的な資産配分比率および投資比率を調整し、基準価額の下落をフロア水準までに抑えることを目指す運用を行います。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

運用環境の見通し

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

今後の運用方針

コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2018年5月2日～2019年5月7日

▶ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	100	1.021	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
（投信会社）	(32)	(0.329)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(64)	(0.658)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.003	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	100	1.024	

期中の平均基準価額は、9,794円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

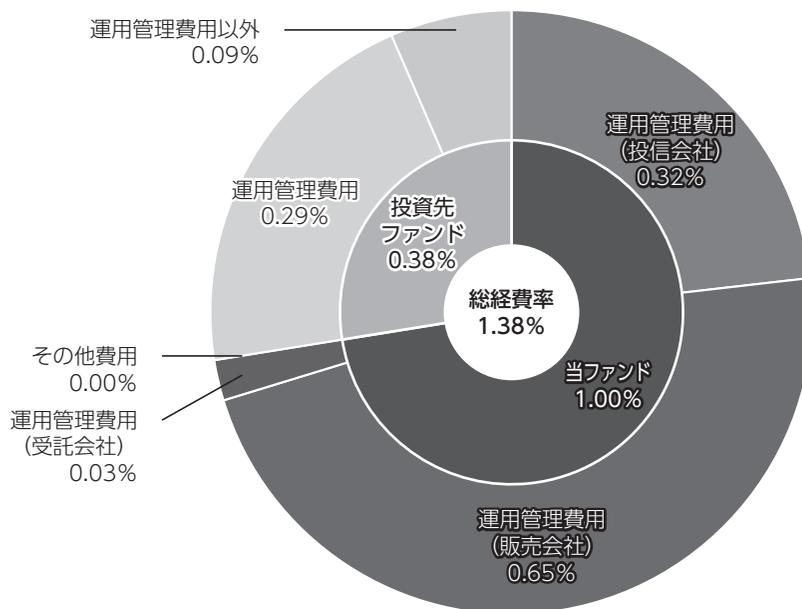
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.38%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.38
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.00
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.29
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.09

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年5月2日～2019年5月7日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90	千口 16	千円 167,000	千口 47	千円 475,104

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年5月2日～2019年5月7日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年5月7日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90	456	425	4,247,742	98.2
	合計	456	425	4,247,742	98.2

(注) 比率はスマート・プロテクター90オープンの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	マネー・マーケット・マザーファンド	981	981	999

○投資信託財産の構成

(2019年5月7日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	4,247,742	97.2
マネー・マーケット・マザーファンド	999	0.0
コール・ローン等、その他	122,859	2.8
投資信託財産総額	4,371,600	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,371,600,620
コール・ローン等	122,858,442
投資信託受益証券(評価額)	4,247,742,276
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	999,902
(B) 負債	44,214,906
未払解約金	21,603,073
未払信託報酬	22,548,607
未払利息	247
その他未払費用	62,979
(C) 純資産総額(A-B)	4,327,385,714
元本	4,423,220,787
次期繰越損益金	△ 95,835,073
(D) 受益権総口数	4,423,220,787口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,783円

○損益の状況 (2018年5月2日～2019年5月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 62,555
受取利息	143
支払利息	△ 62,698
(B) 有価証券売買損益	△32,857,740
売買益	6,083,854
売買損	△38,941,594
(C) 信託報酬等	△45,462,049
(D) 当期損益金(A+B+C)	△78,382,344
(E) 前期繰越損益金	△18,386,468
(F) 追加信託差損益金	933,739
(配当等相当額)	(△ 26,250)
(売買損益相当額)	(959,989)
(G) 計(D+E+F)	△95,835,073
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△95,835,073
追加信託差損益金	933,739
(配当等相当額)	(△ 26,250)
(売買損益相当額)	(959,989)
繰越損益金	△96,768,812

<注記事項>

- ①期首元本額 4,711,194,760円
 期中追加設定元本額 495,455,910円
 期中一部解約元本額 783,429,883円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9783円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は95,835,073円です。

③分配金の計算過程

項 目	2018年5月2日～ 2019年5月7日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	-円
分配準備積立金額	-円
当ファンドの分配対象収益額	-円
1万口当たり収益分配対象額	-円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お知らせ]

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90
運用方針	<p>円建ての短期金融資産（預金含む）へ90%程度の投資を行うほか、スワップ取引により、株式・債券等に実質的な投資を行います。</p> <p>スワップ取引を通じて、スマート・プロテクター90戦略の値動きを反映した円建ての投資成果をめざします。当該戦略は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドが提供する資産配分比率に基づきモルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・ピーエルシーが設定する基本ポートフォリオに対し、レバレッジ比率を純資産総額の最大60%、ターゲット・ボラティリティを年率上限4%とすることをめざします。また、株式および債券各市場に対する短期的な見通しに関する判定指標が適用されます。当該判定指標が各市場の見通しについて短期的な下落予想を示唆する場合、基本ポートフォリオに対するエクスポージャーについて、ターゲット・ボラティリティを年率上限1%に低下させることとなります。</p> <p>スワップ取引は、株式・債券等への投資成果が悪化して損失がスワップ取引における投資元本に達した場合、スワップ取引を終了させ、損失を投資元本に限定されることをめざします。</p>
主要運用対象	スワップ取引を通じて、日本を含む世界各国の株式・債券等に実質的な投資を行います。また、円建ての短期金融資産（預金含む）にも投資を行います。
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一の発行体が発行する証券への投資比率は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ・ スワップ取引の同一のカウンターパーティーへのエクスポージャーは、原則として純資産総額の10%以内とします。
決算日	毎年9月30日
分配方針	原則として、収益分配を行いません。

ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2017年5月9日～2018年9月28日)

(円で表示)

費用	
支払利息	4,762,375
事務管理者及び受託者報酬	11,986,298
代行手数料	15,385,503
保管費用	2,761,209
運用受託報酬	11,524,161
監査報酬	2,000,042
設定費用	1,165,609
その他費用	768,351
費用合計	50,353,548
費用清算控除後	(30,205,670)
投資純損益	(20,147,878)
実現および未実現損益：	
実現純損益：	
トータル リターン スワップ	4,387,978
未実現損益の純変動：	
有価証券	(139,625)
トータル リターン スワップ	22,711,740
投資に係る純損益	26,960,093
運用による純資産の純増減	6,812,215

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

(2017年5月9日～2018年9月28日)

(円で表示)

運用による純資産の純増減：

投資純損益	(20, 147, 878)
投資に係る実現純損益	4, 387, 978
未実現損益の純変動	22, 572, 115
運用による純資産の純増減	6, 812, 215

取引による純増減：

追加設定	5, 053, 100, 000
一部解約	(650, 833, 368)
取引による純資産の純増減	4, 402, 266, 632

純資産の純増減	4, 409, 078, 847
期首	-
期末	4, 409, 078, 847

3. 投資明細表 (2018年9月28日現在)

(円で表示)

		額面 円	取得原価 円	時価 円	対純資産 比率(%)	
Assets						
Government Bonds						
Japan						
JAPAN TREASURY DISC BILL 0.000% 12/10/18 SR:782		3,200,000,000	3,200,946,025	3,200,806,400	72.60%	
Total Japan			<u>3,200,946,025</u>	<u>3,200,806,400</u>	<u>72.60%</u>	
Total Government Bonds			<u>3,200,946,025</u>	<u>3,200,806,400</u>	<u>72.60%</u>	
	行使期限	取引相手	数量	取得原価 円	時価 円	対純資産 比率(%)
Total Return Swaps		Morgan Stanley & Co.				
MS GB JPY Lock In 2 Index	19-Nov-18	International Plc*	438,834	461,348,580	484,060,320	10.98%
Total Return Swaps				<u>461,348,580</u>	<u>484,060,320</u>	<u>10.98%</u>

*Related party of the Trustee, Administrator and Custodian

マネー・マーケット・マザーファンド

《第28期》決算日2018年11月20日

[計算期間：2018年5月22日～2018年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第28期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第28期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
24期(2016年11月21日)	10,184	0.0	24.4	—	4,420
25期(2017年5月22日)	10,184	0.0	—	—	1,681
26期(2017年11月20日)	10,184	0.0	—	—	1,266
27期(2018年5月21日)	10,184	0.0	—	—	1,269
28期(2018年11月20日)	10,183	△0.0	—	—	1,882

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率
(期首) 2018年5月21日	10,184	—	—	—
5月末	10,184	0.0	—	—
6月末	10,184	0.0	—	—
7月末	10,184	0.0	—	—
8月末	10,184	0.0	—	—
9月末	10,183	△0.0	—	—
10月末	10,183	△0.0	—	—
(期末) 2018年11月20日	10,183	△0.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

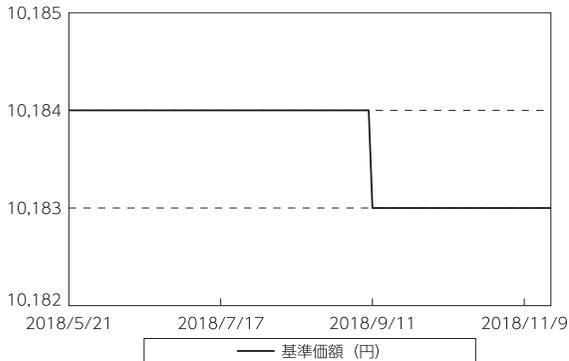
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2018年11月20日のコール・レートは-0.066%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は下落となりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年5月22日～2018年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年5月22日～2018年11月20日)

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 164,899,918	千円 164,299,921

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年5月22日～2018年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年11月20日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,799,999	% 95.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2018年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,799,999	% 95.6
コール・ローン等、その他	82,984	4.4
投資信託財産総額	1,882,983	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	1,882,983,572
コール・ローン等	82,984,049
其他有価証券(評価額)	1,799,999,523
(B) 負債	140,959
未払解約金	140,557
未払利息	167
其他未払費用	235
(C) 純資産総額(A-B)	1,882,842,613
元本	1,848,959,925
次期繰越損益金	33,882,688
(D) 受益権総口数	1,848,959,925口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,246,790,223円
 期中追加設定元本額 891,597,773円
 期中一部解約元本額 289,428,071円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	334,544,012円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	2,280,337円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,874,002円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,048,688円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	20,147,276円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	52,804,813円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	149,179,043円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	16,402,315円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	2,272,200円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	15,211,722円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	270,734円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	667,045円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	275,663円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	1,049,877円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,850,843円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,016,707円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,970,066円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,182,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	84,006,970円

○損益の状況 (2018年5月22日～2018年11月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 29,356
受取利息	3,679
支払利息	△ 33,035
(B) 保管費用等	△ 235
(C) 当期損益金(A+B)	△ 29,591
(D) 前期繰越損益金	22,896,956
(E) 追加信託差損益金	16,324,880
(F) 解約差損益金	△ 5,309,557
(G) 計(C+D+E+F)	33,882,688
次期繰越損益金(G)	33,882,688

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	847,016円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	600,566円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	992,946円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	1,979,971円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	140,355円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	990,683円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	19,635,282円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	6,336,371円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	11,400,264円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	12,561,714円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	50,290円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	99,465円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	30,457円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	641,668円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	4,881,309円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	7,717,476円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	348,598円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	5,504,257円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	13,128,307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,424,660円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,340,694円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	3,123,514円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	6,722,976円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルールコース> (毎月分配型)	13,206,980円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	2,304,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	4,117,720円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	421,681円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961,645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	734,038円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルールコース> (年2回分配型)	1,043,194円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	37,783,200円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	979,528円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	5,144,832円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,859,081円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	40,261円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	50,083円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	3,828,727円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円

三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	109,051円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	8,478,079円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	8,067,104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3,319,056円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	20,075,917円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	5,899,118円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	10,826,836円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	2,026,238円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	128,636円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	79,540円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	698,261円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ ターゲット・イヤール・ファンド2030 (確定拠出年金)	2,399,448円
マクロー・トータル・リターン・ファンド	9,820円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	6,313,826円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジあり)	412,412円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジなし)	1,188,139円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	609,781円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	305,382円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,683,229円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型)	17,656,128円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	5,843,481円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	25,393,755円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	36,457円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
北欧小型株ファンド (為替ヘッジあり)	9,821円
北欧小型株ファンド (為替ヘッジなし)	9,821円
N a v i o インド債券ファンド	296,406円
N a v i o マネーボールファンド	5,223,339円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
マネーボールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	9,988,373円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	6,042,045円

ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）	11,784,347円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース（為替ヘッジなし）	10,766,608円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース（為替ヘッジあり）	21,620,196円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	417,607,779円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	225,031,917円
合計	1,848,959,925円